特集

2030年ビジョン実現に向けた取り組み
～コープしがの2022～

第41回通常総代会（2021年6月11日）で承認されました

2030年ビジョン「やくだつ・つながる・ひろがる」は、コープしが理念「ともにつくる　笑顔あふれる未来」を実現するための10年後のありたい姿です。今までも、これからもずっと組合員の期待に応えて、くらしに役立ち続けることを目指しています。

ビジョンの実現のために3カ年の中期計画（2021～2023年度）を作成し、ありたい姿の実現のための「土台づくり」として位置づけ、取り組んでいます。

「しが子どもの笑顔はぐくみサポート基金」

貧困や様々な悩みを抱える子どもたちが“笑顔”で暮らせるように応援する基金を2022年1月に創設しました。組合員が宅配、店舗で提供する県内商品・地場産農産物の利用を通じて、子どもたちや県内生産者を応援できる取り組みです。

積み立てた基金は、年度末に1年間分を、滋賀県社会福祉協議会がすすめる「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」に寄付します。

在庫商品の寄付

2021年11月から、物流センターで宅配事業の在庫として確保してある商品を、毎月1回、「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」に寄付しています。

「滋賀県食品ロス削減優良取り組み表彰」知事賞を受賞しました

食品ロス削減に関する特に優れた取り組みを行っている個人や事業者、団体に贈られるもので、コープしがは、「フードドライブ」の取り組みとハートコープしがで実施している「野菜くずの堆肥化・リサイクルの取り組み」について、表彰を受けました。

表彰式の様子

しがのふるさと支え合いプロジェクト

2022年11月、知内農業組合と協定を結びました。滋賀県の「しがのふるさと支え合いプロジェクト」を活用し、知内の自然環境での田植え・稲刈り体験と交流を通じて、「魚のゆりかご水田」を知らせる取り組みをすすめています。

※「しがのふるさと支え合いプロジェクト」は、多様な住民や活動主体との協働活動による持続可能な農村づくりの取り組みです。

魚のゆりかご水田　魚とりの様子

フードドライブの取り組み

コープしがの各事業所にフードBOXを設置し、組合員から余剰食品の提供を受け、「フードバンク滋賀」・「フードバンクびわ湖」を通して必要とする人に届ける「フードドライブ」の取り組みを行っています。2022年度は、新たに「フードバンクながはま」「甲賀市社会福祉協議会」が回収先に加わりました。

●2022年度フードBOX回収量：8,833.6kg

「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」感謝状

滋賀県との包括的連携協定に基づき、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ（第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会）」に寄付協力を行ったことから、感謝状をいただきました。2025年の開催成功に向けて、県民への認知度向上に取り組んでいきます。

感謝状と両大会のメインキャラクターと一緒に

滋賀県初のオリジナルいちご「みおしずく」を使ったスイーツ

「“みおしずく香る”近江のめぐみドルチェ」の開発

コープしがは滋賀県との包括的連携協定に基づき、「みおしずく」を使ったスイーツ試作プロジェクトに参画し、滋賀県産の素材にこだわった、「“みおしずく香る”近江のめぐみドルチェ」を開発しました。４層はそれぞれ滋賀の自然を表しています。

みおしずく香る　近江のめぐみドルチェ

コープしがは30周年!

生活協同組合コープしがは2023年3月21日に30周年を迎えました。

合併当時7万人だった組合員数は、今では22万人を超え滋賀県全体の約36％の世帯が加入する大きな組織になりました。

当時の合併趣意書に込められた想いは、コープしが理念「ともにつくる笑顔あふれる未来」に息づいています。

「これまでも、これからも」コープしがは人と人のつながりを大切にしながらすすんでまいります。